

都立高等学校における 通級による指導について

1

高等学校に在籍する発達障害のある生徒の自立に向けた取組や課題

東京都特別支援教育推進計画（第二期） 第二次実施計画の策定

2

東京都特別支援教育推進計画(第二期)

- ◆ 都の特別支援教育の方向性を示す計画期間11年間の長期計画 (H29～R9年度)
- ◆ 併せて、具体的な取組等の内容を明らかにする5年間の第一次実施計画を策定 (H29～R3年度)
- ◆ 基本理念
共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸ばして、社会に参加・貢献できる人間を育成
- ◆ 施策の方向性
基本理念の実現に向け、右の方向性に沿って施策を推進

方向性Ⅰ 特別支援学校における特別支援教育の充実

方向性Ⅱ 小学校、中学校及び都立高校等における特別支援教育の充実

方向性Ⅲ 変化・進展する社会に対応した特別支援教育の推進

方向性Ⅳ 特別支援教育を推進する体制の整備・充実

国の動向

学習指導要領の改訂

- ・インクルーシブ教育システムの推進による学びの連続性の重視

GIGAスクール構想

- ・一人1台端末と通信ネットワークの一体的な整備

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」

- ・連続性のある多様な学びの場の一層の充実・整備

都の動向

「未来の東京」戦略

- ・共生社会「インクルーシブシティ東京」の実現
- ・多様な学びの場を備えたインクルーシブな教育を推進

東京都教育施策大綱

- ・柔軟な仕組みによる多様な学びの場を創出

東京2020大会の開催とオリンピック・パラリンピック教育のレガシー

- ・開催による共生社会への機運の拡大と、レガシーとしての教育活動の推進

東京都特別支援教育推進計画(第二期) 第二次実施計画の策定・公表

- ① 第一次実施計画に基づく取組の成果を踏まえ、更なる充実に向けた取組を一層推進
- ② 特別支援学校の在籍者数の将来推計の結果を踏まえて、都立特別支援学校の適正な規模と配置などの取組を着実に推進
- ③ 社会状況の変化等に対応するため、以下の3点の施策に重点的に対応

インクルーシブな教育の推進

医療的ケア児への支援の充実

デジタルを活用した教育の推進

全ての学びの場における特別支援教育を充実

障害のある幼児・児童・生徒一人一人の能力を最大限に伸ばし、それぞれの状況に応じた自立や社会参加を促進

⇒ 共に学び支え合う共生社会「インクルーシブシティ東京」の実現を目指す

これまでの取組の成果や社会状況の変化等を踏まえ、令和3年度末に令和4年度から令和6年度までを期間とする第二次実施計画を策定

特別支援教育推進計画（第二期）[長期計画]（期間：H29～R9）

第一次実施計画
(H29～R3)

第二次実施計画
(R4～R6)

第三次実施計画
(R7～R9)

都立高校の通級による指導

都立高校における発達障害の可能性のある生徒の在籍状況

	生徒数 (a)	発達障害の 可能性のある 生徒の在籍数 (b)	在籍率 (c) = b/a
全日制	119,274人	2,997人	2.5%
定時制	9,761人	1,403人	14.4%
計	129,035人	4,400人	3.4%

(a)は、「令和3年度公立学校統計調査報告書【学校調査編】」(都教育委員会)による数値
(b)は、令和3年度に都教育委員会が実施した調査結果による数値

発達障害の可能性のある生徒は
全日制であれば、40人に1人
定時制であれば、7人に1人は在籍

全ての学校、学年、学級に発達障害
のある生徒が在籍しているという認
識のもと、通級による指導だけでな
く、在籍学級などを含む学校全体で
組織的に取組を進める必要

都立高校の通級による指導

生徒の困っていることを改善するための授業です

- ☑ 周囲の人たちとうまく関係をつくっていきたい
- ☑ 感情を自分でコントロールできるようになりたい
- ☑ ちゃんとスケジュール管理ができるようになりたい

自分の困っていることを改善したい!と思ったら、
まずは学校の先生に相談してみましょう



**寄り添ってくれる人がいる。
支えてくれる学校がある。**

通級による指導とは?
大抵の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について障害
に応じた特別の指導を受ける授業形態です。
都内公立小・中学校では、「特別支援教室」として全校に導入されてい
ます(自治体によっては「特別支援教室」とは別に発着等をつけている場
合があります)。

通級による指導に関するお問合せはこちら
東京都教育庁 都立学校教育部
特別支援教育課 発達障害教育推進担当
TEL 03-5320-7838
[詳細は裏面へ→]

東京都教育委員会

通級
Q&A

Q1 通級による指導ではどのような内容を学ぶのですか?
「人と上手にコミュニケーションができるようになりたい」「感情のコントロールができる
ようになりたい」「スケジュールや自己管理の方法を身に付けたい」など、生徒が困っている
ことに応じて、以下の例のように困っていることを改善・克服できるような内容を学びます。
(備考例)
● クラスメイトに、自分の困っていることを上手に伝
えられない生徒に対して、気持ちを伝え方や、自
己合った表現の方法を身に付けられるようになります。
● 現実的ではない計画を立ててしまう、課題を前日ま
でに提出できない、といった生徒の特性に応じて、
スケジュールや自己管理の方法を身に付けられるよ
うになります。

Q2 通級による指導はどこで、誰が教えてくれるのですか?
自分が在籍している都立高校で、在籍校の先生と専門的な知識やノウハウのある支援員
によるチームティーチング形式の指導が受けられます。

Q3 自分の学校以外では指導は受けられないのですか?
土曜日や夏休みに、学校以外の会場で、都立高校の生徒を対象とした「コミュニケーショ
ンアシスト講座」を実施しています。ただし、在籍校の教育課程には含まれません。詳細は、
東京都教育委員会のホームページをご確認ください。
[Q コミュニケーションアシスト講座](#)

Q4 通級による指導を受けたら単位認定されますか?
各学校で、対象の生徒の個別指導計画等に、通級による指導の目標を定め、十分にその目
標が達成できたと校長が判断した場合に、単位を認定します。

Q5 通級による指導を受けたことで進学や就職に不利になりますか?
不利になることはありません。通級による指導により、進学先や就職先で必要なスキルや、サポートし
てほしい時に支援を依頼できる力を身に付けられるようになります。

Q6 通級による指導以外に受けられる支援はありますか?
授業での個別の配慮や教室のユニバーサルデザイン化による学びやすい環境づくりなど
が考えられます。また、Q3の「コミュニケーションアシスト講座」もあります。
自分が困っていると感じていることをよく先生に話してみましょう。どのような支援が
できるか、先生が相談に乗ってくれます。

対象生徒について
以下の①～⑥を全て満たす生徒(⑦～⑨は小・中学校特別支援教室と同じ)
● 都立高校又は都立中等教育学校後期課程に在籍する生徒 ※全日制・定時制・通級生は問いません。
● 知的障害がなく、発達障害等(自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害)があり、通常の授業におおむね参加でき、一部
障害に応じた特別な指導を必要とする生徒
● 生徒本人と保護者が通級による指導を希望し、かつ、学校及び都教育委員会に指導が必要であると認められた生徒
障害による学習又は生活上の困難を改善・克服することを目的とした指導[※]を行うものであり、教科の補習など、学習の遅れを取り
戻すことを目的とした指導は行いません。[※] 個別指導や特別支援教育相談の(自主)申請の案内を参照してください。

(編者・発行) 東京都教育庁 都立学校教育部特別支援教育課
(所在地) 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都教育委員会印刷施設 令和3年度 第140号

都立高校の通級による指導

対象生徒

- ▶ 以下を全て満たす生徒
- ① 都立高等学校に在籍する生徒
- ② 知的障害がなく、発達障害等があり、通常の授業におおむね参加でき、一部、障害に応じた特別な指導を必要とする生徒
- ③ 生徒本人と保護者が通級による指導を希望し、かつ、学校及び東京都教育委員会に指導が必要であると認められた生徒

対象校

- ▶ 全ての都立高等学校・中等教育学校後期課程

都立高校の通級による指導

教育課程

- ▶ 特別の教育課程を編成し、高等学校の教育課程に加えて、又は選択教科・科目の一部に替えて実施している。

指導体制

- ▶ 担当教員は対象生徒が在籍する学校の教員（教科問わず）
- ▶ 外部人材（高校通級支援員）とのチームティーチングの形式を基本とする。

指導内容

- ▶ 「自立活動」の内容を参考とし、生徒一人一人について具体的な内容を定める。

都立高校の通級による指導

外部人材との連携

▶ 通級による指導に係る連携事業者を募集

- ① 連携事業者による発達障害等のある生徒に対する指導の経験やノウハウ等のある人材の推薦（高校通級支援員）
- ② 都立高等学校の生徒に対して、連携事業者が支援した通級による指導に係る教材や事例等の東京都教育委員会との共有及び共有後の都立高等学校への普及
- ③ 発達障害等のある生徒に対する指導の経験やノウハウ等の専門性の向上

▶ 学校への支援

通級による指導（授業）への支援のほか、授業前の教材（授業）準備、授業後の記録作成、学校に対する指導内容の提案や解説等

様々なタイプの都立高校

7

校種	校数	特色
総合学科高校	10	多様な科目を開設して、普通教育と専門教育を総合的に行う学校で、多様な能力・適性等に対応した柔軟な教育を行う。
単位制高校	12	[1] 個性や特性、進路希望に対応した特色型 [2] 進学重視型 [3] 専門高校型
科学技術高校	2	先端的な科学技術を学び、理工系や薬学系の大学への進学を目指す専門高校
産業高校	2	地域の産業界と連携し、生産（ものづくりの基礎）から流通（ビジネスに関わる企業活動の動き）・消費までの過程における関連性などを総合的に学習する専門高校
進学型商業高校 （ビジネスコミュニケーション科）	2	ビジネスに関して基礎的・基本的な知識・技能を修得し、将来国際社会で活躍できるスペシャリストを育成するために、大学等に進学し、継続して学習することを前提とした専門高校
総合芸術高校	1	我が国の芸術文化を支えていく、高度な専門性と幅広い教養、豊かな感性を備えた人材を育成するために設置された、都立高校唯一の芸術学科単独の専門高校
昼夜間定時制高校 （単位制）	6	単位制で昼夜開講多部制の高校である。様々な進路希望に対応した多様で弾力的な教育を行っており、3年での卒業も可能である。
チャレンジスクール （定時制・総合学科）	6	小・中学校時代に不登校経験を持つ生徒や長期欠席等が原因で高校を中途退学した者等を主に受け入れる総合学科・三部制(午前部・午後部・夜間部)の高校で、他部履修により3年での卒業も可能とする。
エンカレッジスクール	6	小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援する学校として、社会生活を送る上で必要な基礎的・基本的学力を身に付けることを目的として、既設校の中から指定。基礎・基本を徹底するとともに体験学習を重視

荻窪高等学校の通級による指導の取組み

荻窪高等学校について

- ▶ 平成19年「新たなタイプの定時制高校」として開課程
- ▶ 昼夜間（三部制）定時制・単位制
- ▶ 令和3進路実績
進学（大学・短大22%、専門学校35%）、就職25%、その他18%
- ▶ 地域のセーフティネットとして多様な生徒が学んでいる
（不登校、発達障害、知的障害、精神障害、被虐待、生活困窮、
外国ルーツ、セクシュアルマイノリティ、高齢など）

荻窪高等学校の通級による指導の取組み

荻窪高等学校の生徒支援体制

- ▶ 分掌・総合支援部（教員6名、養護教諭2名）
- ▶ スクールカウンセラー
- ▶ ユースソーシャルワーカー4名（週2回来校）
- ▶ 精神科校医（月1回来校）
- ▶ 日本語指導外部人材（日本語教師、地域ボランティア、授業サポート）
- ▶ 非常勤介助職員

荻窪高等学校の通級による指導の取組み

通級による指導までの準備

- ▶ 令和3年度から、教員が外部人材（高校通級支援員）とともに指導する体制が整備され、全都立高校で通級による指導が実施可能に
- ▶ 本校では令和2年度2学期末に全校生徒へ案内を配布、希望者を募る。
- ▶ 他部選択（選択教科・科目の一部に替える）で1年次には1単位、2年次以上には2単位を原則として設定し実施。
- ▶ 通級利用希望者に対し、東京都特別支援教育心理士派遣事業を活用し、発達検査実施（WISC、WAIS）（過去に受けた検査結果を提出した生徒もいた。）

荻窪高等学校の通級による指導の取組み

外部人材（高校通級支援員）との連携

- ▶ 高校通級支援員は連携事業者Grow-S（首都圏で「さくらんぼ教室」を運営、都教委主催の「コミュニケーションアシスト講座」受託事業者）から派遣を依頼。
- ▶ 担当教員と高校通級支援とのチームティーチングで実施。
主は担当教員で高校通級支援員には専門的見地から教材、指導内容等について支援を受ける。
 - ✓ 普段接している本校教員が主になることで、生徒は安心して授業を受けられる。
 - ✓ 担当以外の教員との連携がとりやすくなる。



荻窪高等学校の通級による指導の取組み

教材

生活スキル☆こんなとき、どうする？
上級編 (12)

なんでなんで！
 なんだか最近 よくないことがつづく・・・。
 学校に遅刻したり、お弁当を忘れたり、
 待ち合わせの時間をまちがえたり、
 勉強に集中できなかつたり、・・・
 ちょっと いらいらするの。
 あたし、なにか ヘンなのかな？



■こんなとき、どうする？ あなたの経験や思い出したり、状況を想像したりしながら、書いてみましょう。

↓

●さくらんぼ教室からのアドバイス●
 小学高学年をすぎると、夢や心が大人にも近づいて、いろいろな変化があります。そしてその変化に戸惑いや不安が出て、何となくイライラしたり、怒りや不安が出ていたりすることが多いと思います。そういうときは、だれかにも相談したり、友達や近くにいる大人の人に相談したり、いつもとはちよつとちがうことにチャレンジしたりして、気持ちを楽にしてみよう。大人は、あなたを応援しています。いいときもあれば、うまくいかないときもあります。ちよつと失敗しても平気、平気！ がらびょう。

12 2015年6月4日発行

すてき♡「アップサイクル」

「あたらしい価値」を見つけたい！

「リサイクル」？ いいえ、「アップサイクル」です。アップサイクルとは、今までなら捨 (in) てていたようなものにデザインやアートなど「新しい価値 (value)」を付 (attach) け、新しい製品 (product) に生まれ変わ (reborn) りさせること。「アップグレード」ということ。簡単 (easy) にいえば「新しい価値 (value) を見つける」ということ。未来 (future) のためのSDGs (持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)) とくに環境問題 (environmental issues) と関わり (related) の深い取り組み (initiative) といえます。

たとえば、耐用年数 (durability) をすぎたソーラーパネルがテーブルに生まれ変わったり、すり切れたタイヤがおしゃれなパンになったり、廃材 (waste) を家具 (furniture) や食器 (tableware)、アクセサリーにするなど、さまざまな業界 (industry) の取り組みも話題 (topic) になっています。

「捨 (in) てしまうものに、新しい命 (life) をあか (re) 生 (give) る」。そう考えるとすてきですね。

Q1 「アップサイクル」とは？
自分のこぼれで 説明してみよう。

Q2 たとえば、「廃材」(古い/不要になった材料) ほとんどを無駄にしない工夫 (idea) が出ていますか？

発行年月日
2021年6月の

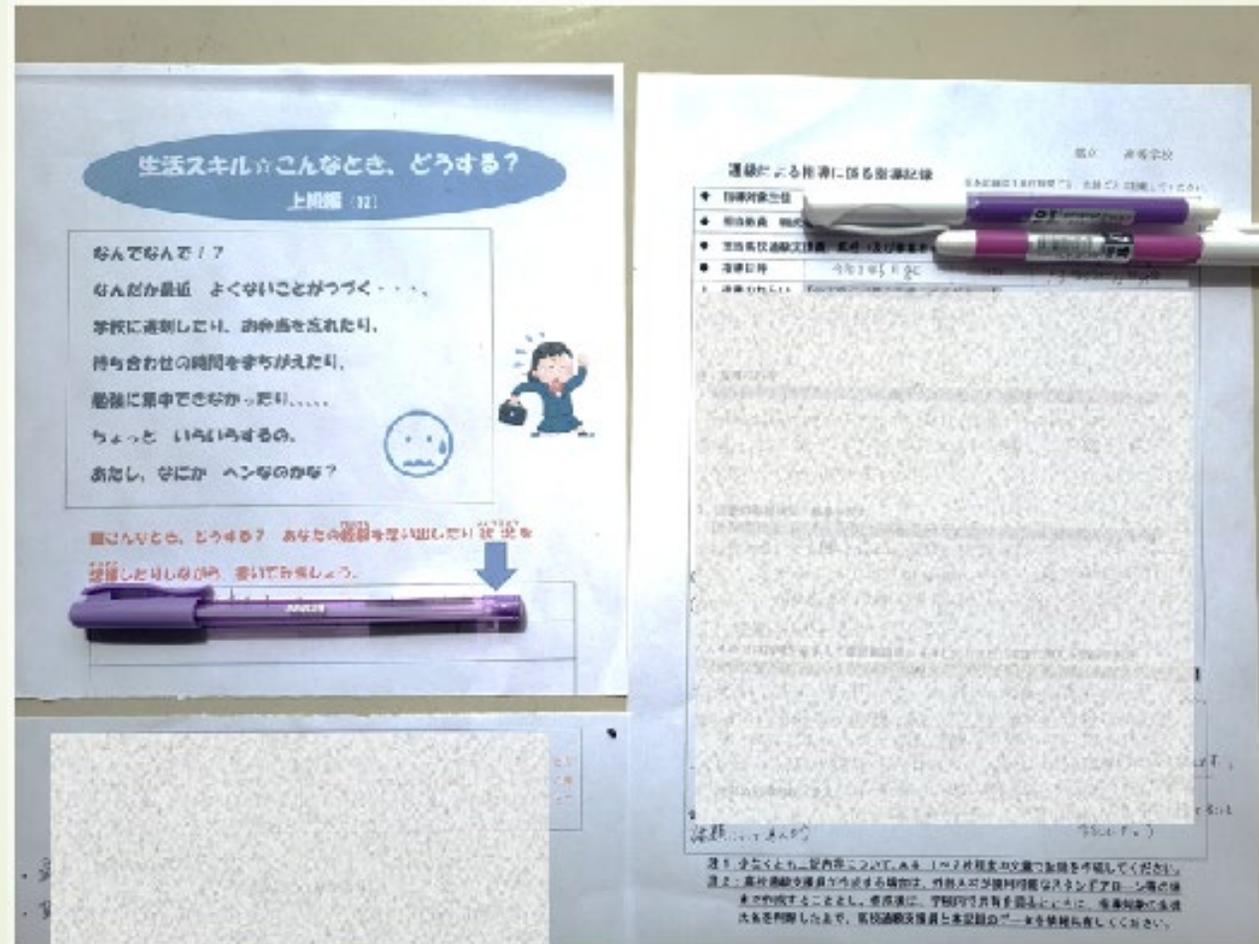
発行
さくらんぼ教室

**ふり回り
自分の意見**

(廃材 (waste) をリサイクルし、再利用し、さらに新たな価値を生み出すための取り組み) アップサイクルのアイデアを教えてください！

荻窪高等学校の通級による指導の取組み

教材



荻窪高等学校の通級による指導の取組み

教材 野菜の栽培、地域との連携



荻窪高等学校の通級による指導の取組み

課題

- ▶ 通級の指導を必要とする生徒をどのように受講につなげるか
- ▶ 申請に係る発達検査の日程調整、心理士の手配、検査キットの調達など
- ▶ 担当教員の負担
- ▶ 時間割の編成と教室の確保
- ▶ 発達の特徴がありながら知的障害や不登校傾向がある生徒への支援
- ▶ 外部人材（高校通級支援員）による支援を前提に行っている。

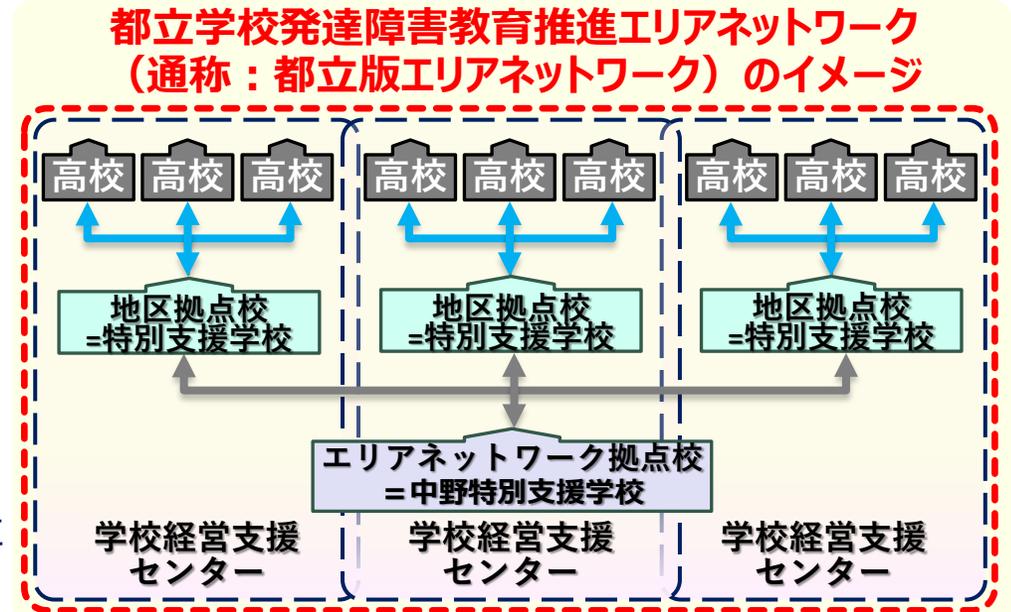
都立学校発達障害教育推進エリアネットワーク

全ての都立高校において指導の充実を目指す。

発達障害のある生徒などの特別な支援を必要とする生徒は、**全ての学校・学年・学級に在籍している**という認識を共有し、それぞれの役割に応じ、**学校として発達障害のある生徒を支援していく必要**

高校の発達障害教育を推進するため、経験やノウハウを有する特別支援学校が高校を支援する
「都立学校発達障害教育推進エリアネットワーク」
 (通称:都立版エリアネットワーク)を構築し、
地区ごとに特別支援学校(地区拠点校)が高校を支援
 全体の拠点となる特別支援学校(=中野特別支援学校)に
 高い専門性をもつ教員を配置し、全都立学校を支援

令和4年度から開始



エリアネットワーク拠点校と地区拠点校とが連携した発達障害のある生徒への支援フローのイメージ例



発達障害教育の充実による生徒への支援

- 発達障害のある生徒への適切な指導・支援は、通級による指導のみで完結するものではなく、通常の学級での支援や配慮、工夫などが必要
- 例えば、生徒が、通級による指導などで指導を受けた内容を通常の学級で実践できたとき、担任などが機を逸することなく、児童・生徒を評価したり褒めたりすることが大切
- 発達障害を含む特別な支援を必要とする生徒は、どの学校、学年、学級にも必ず在籍しているという認識に立ち、教職員が協力して取り組む必要

関係機関とも協力しながら、生徒の将来の自立に向け取組を推進

ご清聴ありがとうございました。